

セラピーを学ぶ際の基本となり、必須になるのが「解剖生理学」の知識ですが、病気の治療について理解するためには、さらに薬の分類と作用を理解する「薬理学」という領域を学ぶ必要があります。この講座では、コメディカルの学生が使用するレベルのテキストを用いますので、この機会に、きちんとした基本を身につけていきましょう。



- 受講料: 全4回 30,400円 (税込)
- 講師: 渡邊肇子(薬剤師)
- 対象はどなたでも。薬の分類と作用を理解する「薬理学」を学びたい方。
- 日程: 木曜の 15:45~17:45
2/22・3/15・3/22・3/29

<テキストの紹介>

『新版 超図解 薬はなぜ効くか 看護師・医者・薬剤師へ』 田中正敏 講談社 2,600円(税別)
(各自でご用意下さい)

○2/22~序章

○3/15~痛みの薬、睡眠薬、解熱剤、向精神薬、自律神経系の薬

○3/22~筋弛緩薬、消化器系の薬、心臓の薬、脂質異常症の薬、血圧の薬

○3/29~呼吸器系の薬、利尿薬、血栓溶解剤、痛風の薬、抗炎症剤、副腎皮質ホルモン剤、抗ヒスタミン剤、認知症の薬

◎申し込み方法

件名を「薬理学講座申込みの件(氏名)」とし、下記の項目をメールまたはファックスでお送りいただき、お振込み下さい。振込みをもって正式受付とさせていただきます。

- ① 講座名 ② 日程 ③ 氏名(ふりがな) ④ 住所 ⑤ 連絡先(当日つながる電話番号) ⑥ メールアドレス

<講座内容のポイント>

○2/22

序章:薬はどのようにして効いているのか、薬は3つの名前をもっている、薬の運命—吸収・分布・代謝・排泄—、剤型のいろいろ、薬の正しい飲み方など

○3/15

痛みの薬(解熱鎮痛薬、麻酔薬、鎮痙薬)、睡眠薬、解熱剤、向精神薬(抗精神病薬、抗うつ剤、抗不安薬)、自律神経系の薬(アドレナリン、アセチルコリンに関する薬)

○3/22

筋弛緩薬、消化器系の薬(潰瘍治療薬、消化薬、下知止め、下剤)、心臓の薬(強心薬、不整脈治療薬、血管拡張薬)、脂質異常症の薬、血圧の薬(降圧剤)

○3/29

呼吸器系の薬(鎮咳薬、去痰剤、喘息治療薬)、利尿薬、血栓溶解剤、痛風の薬、抗炎症剤、副腎皮質ホルモン剤、抗ヒスタミン剤、認知症の薬

■ 主催・お問い合わせ: (有)ホリスティックヘルス情報室

Eメール: hic@a7.rimnet.ne.jp FAX: 03-5572-8219

URL: <http://holistichealthinfo.web.fc2.com/index.html>

◎ お振込先

三菱東京UFJ銀行虎ノ門中央支店 普通5832950 (有)ホリスティックヘルス情報室

